

15:12900

15.4.30

2014年度開講科目

調査実習概要報告書

/

2015年4月15日

科目担当者氏名		科目担当者連絡先 (メールアドレス)
(ふりがな)	ざいきかずお 材木和雄	
連絡責任者氏名		科目設置機関名
(ふりがな)	にしむらたけお 西村雄郎	広島大学総合科学部
授業科目名	科目認定番号	受講者数
社会環境調査Ⅰ、社会環境調査Ⅱ	HRMa-141501-2 HRMa-141502-2	社会環境調査Ⅰは10名、社会環境調査Ⅱは7名

Ⅰ. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：社会環境調査Ⅰでは何を問題とするのかを参加者と徹底的に討論した上で、アンケートの質問項目を吟味し、調査票を作成した。社会環境調査Ⅱでは、調査対象者のサンプリング、調査票の発送、返送された調査票の整理、回答結果のエクセルへの入力、統計ソフトを使ったデータ分析を担当させた。通年で実習に参加した学生は社会調査の手順と手法を一通り、学ぶことができたように思う。参加者の多くはアンケート調査の舞台裏を知るとともに、実際にデータを得ることがいかに大変な作業であるかを実感したと述べている。私自身もきわめて大きな教育効果を感じた授業であった。

Ⅱ. 調査の企画・設計 (デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：高齢者介護をめぐる不安と家族介護の実態把握

2. 調査の内容/概要：急増する高齢者介護の大半は依然、家族によって担われているが、近年、家族の介護機能は弱体化している。高齢の一人世帯や夫婦世帯、共働き世帯の増加が大きな原因である。このような状況の中で近い将来に大きな不安を抱えている方も少なくない。それは介護する不安であったり、介護を必要とする状態になる不安であったりするかもしれない。他方、多くの方がすでにご家族の介護に従事している。この調査は、高齢者介護をめぐる不安の様相や家族介護の経験を把握するために、広島大学の教員と学生が企画した調査である。私たちは、この調査によって、高齢者介護をめぐる不安の多様性を明らかにするとともに、迫り来る「大介護時代」に対処するヒントを得たいと考えた。

3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：アンケート調査については、東広島市の40-79歳の男女を母集団とし、標本数は1200、東広島市の選挙人名簿から無作為抽出。

4. 主な調査項目：介護を必要とする状態になったときに希望する介護の場所、介護を任せたい家族、今後5年以内の介護の可能性、介護をめぐる不安、仕事と介護との関係、回答者の介護の実態、介護期間・平均介護時間と負担感、介護の場所、家族介護に関する意識。

5. データ収集 (現地調査) の方法：郵送法によるアンケート調査

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：アンケート調査は2014年9月に東広島市で実施、調査員は7名。

7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：有効回収調査票は484、回収率は40.3%。統計処理に十分な数の調査票を回収できたと考える。

Ⅳ. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：アンケート調査の結果については統計ソフト (SPSS) を用い、性別、年齢別、結婚した年齢、結婚した年代など様々な変数を設定し、データを分析した。

9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：男女ともに年齢が上がるにつれて介護に対する不安が大きくなるが、女性は男性に比べてその時期が早い。男性は配偶者に、女性は自分の娘に介護を期待する傾向が強い。介護の経験者と未経験者では様々な側面で意識の違いがある (たとえば、家族への介護に対して「資格を取得すれば介護労働者として有給で家族を介護できる仕組み」を希望する者が多い)。

10. 報告書刊行の予定と概要：「高齢者介護をめぐる不安と家族介護の経験に関する調査—社会環境調査Ⅰ・社会環境調査Ⅱ実施報告書一、2015年3月、広島大学総合科学部社会文化プログラム」として刊行。

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。

2. 最上部の*印の箇所には数字を(*/*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通り)にして、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。